

参考資料 2 | 各種データ

1. 利用状況確認調査結果

東所沢公園の「利用状況確認調査（平成 30 年、所沢市）」から、利用状況を集計しました。本調査は、平成 30 年 8 月から 11 月までに 17 日間実施され、調査方法は、1 日約 30 分間の目視による確認とし、利用人数の内訳は大人・子どもとなっています。

以下に、各ゾーンにおける利用人数の分布と利用状況を整理しました。17 日間の調査実施日を午前・午後に分けて集計した結果、午前の利用が多くみられるほか、幼稚園の遠足などが確認されています。

東所沢公園における利用状況確認調査のまとめ

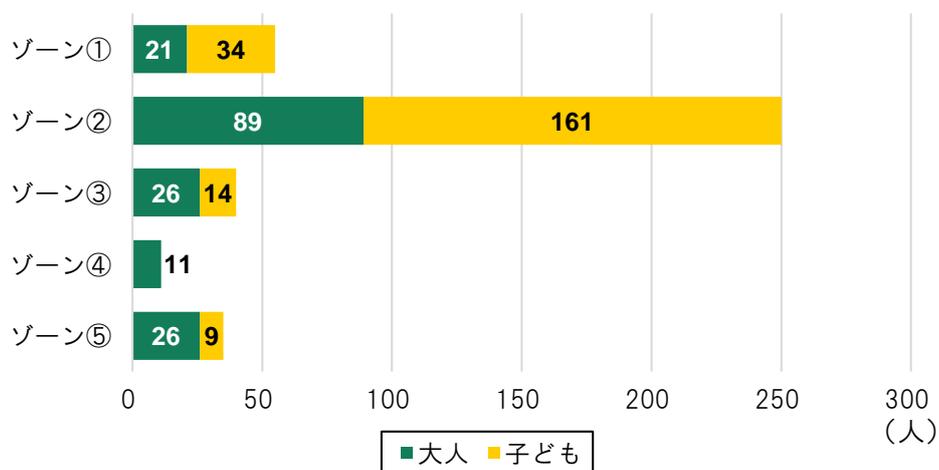
調査時間帯	各ゾーンにおける利用人数と利用状況									
	①		②		③		④		⑤	
午前	49人	大人 16 子ども 33	165人	大人 51 子ども 114	26人	大人 17 子ども 9	10人	大人 10 子ども 0	9人	大人 8 子ども 1
	・休憩	2	・遊具	29	・休憩	1	・休憩	1	・遊具	2
	・散歩	5	・砂場	11	・その他	21	・散歩	10	・休憩	2
	・その他	37	・休憩	5	・サッカー	7			・散歩	4
午後	6人	大人 5 子ども 1	85人	大人 38 子ども 47	15人	大人 9 子ども 6	1人	大人 1 子ども 0	26人	大人 18 子ども 8
	・休憩	3	・遊具	52	・休憩	6	・散歩	1	・遊具	4
	・散歩	1	・砂場	1	・散歩	1			・休憩	12
	・その他	2	・休憩	2	・サッカー	5			・散歩	1
			・その他	2						
合計	55人	大人 21 子ども 34	250人	大人 89 子ども 161	41人	大人 26 子ども 14	11人	大人 11 子ども 0	35人	大人 26 子ども 9
	・休憩	5	・遊具	81	・休憩	7	・休憩	1	・遊具	7
	・散歩	6	・砂場	12	・散歩	1	・散歩	10	・休憩	14
	・その他	39	・休憩	7	・サッカー	12			・散歩	5
			・その他	2	・その他	21			・その他	1
備考	・通り抜け 29人									
	・トイレ利用 7人									
	・公園周回 3人									

(1) 利用人数分布の整理

利用人数分布について、各ゾーンの利用者を世代別（大人・子ども）に整理しました。

利用人数が特に多いのはゾーン②で、全体の6割以上となっています。ゾーン①・③・⑤では、各々が全体の1割強と目立った相違はみられない一方で、ゾーン④では、利用人数が少ない状況です。各ゾーンの世代別比では、ゾーン④の全ての利用が大人となっており、子どもによる利用がみられませんでした。ゾーン③・⑤でも大人の利用が多くみられ、子どもの利用は少ないようです。ゾーン②では、遊具が設置されていることから子どもの利用が目立って多く、ゾーン①でも子どもの利用が多くみられています。

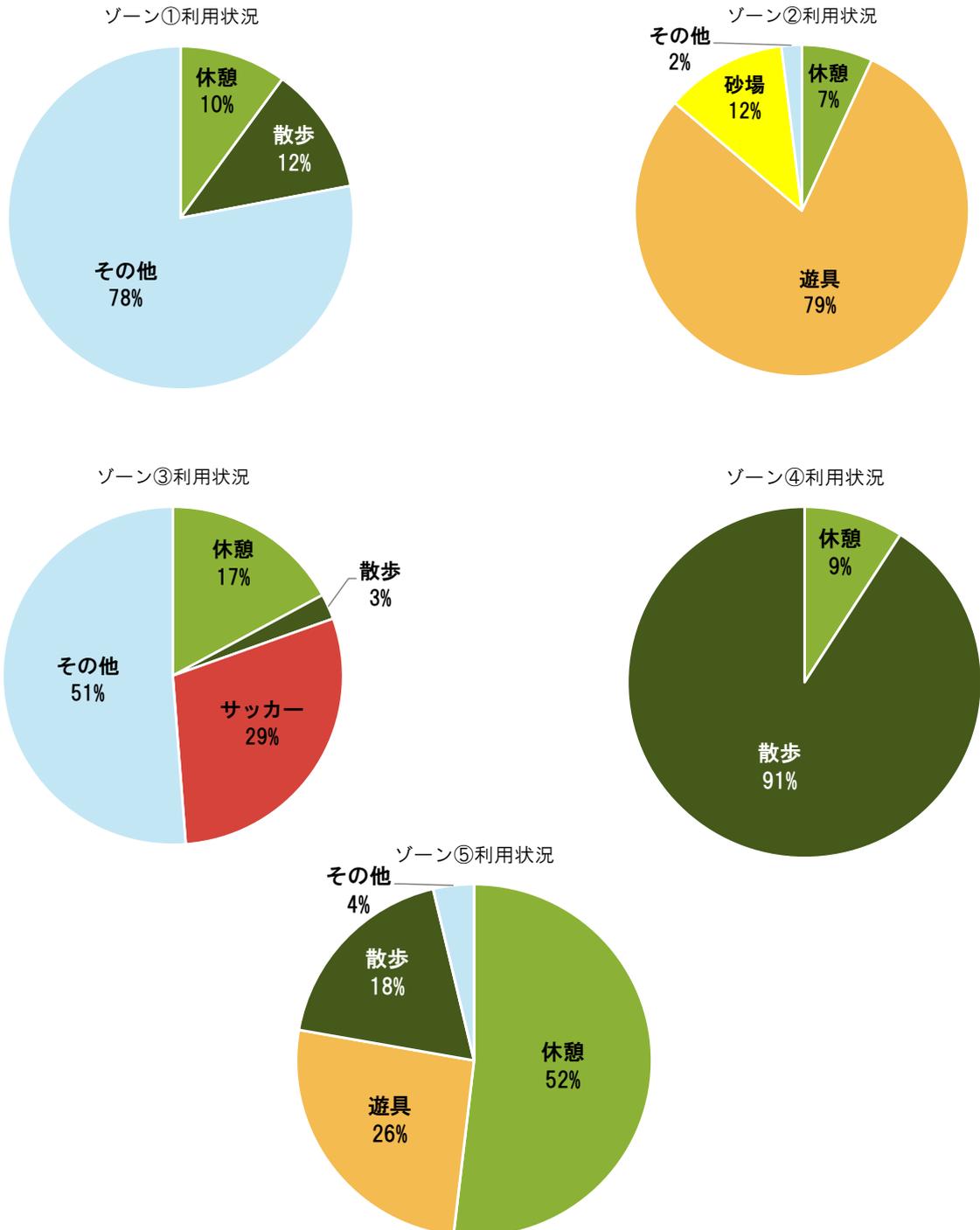
各ゾーンの利用人数



(2) 各ゾーンの利用状況について

前述の利用人数の分布において、大人の利用が目立ったゾーン（③・④・⑤）では、休憩・散歩の利用が多く、子どもの利用が目立ったゾーン（①・②）では、遊具・砂場その他の利用が多くみられています。その他の利用には、追いかっこなどが含まれており、雑木林や芝生広場などで自由に遊ぶ利用者も多くみられ、芝生広場では、サッカー利用者も多い状況です。

各ゾーンの利用状況



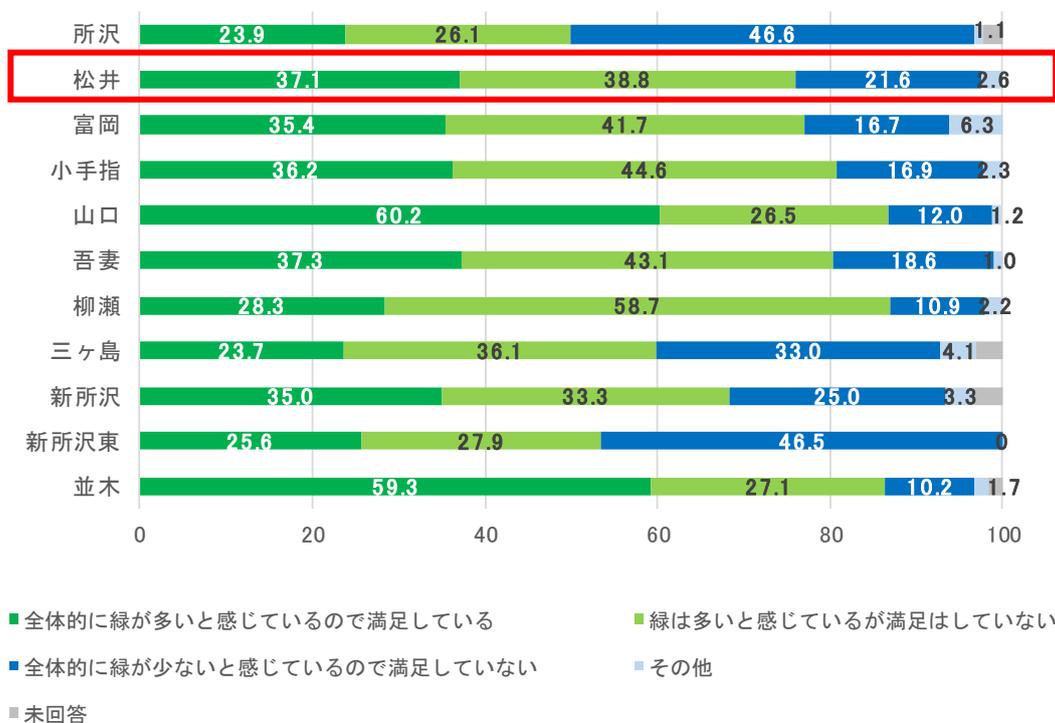
2. 市民アンケート結果

東所沢公園に求められるニーズや役割を把握するため、市民アンケート結果の整理を行いました。

所沢市では「みどりの基本計画」の改定に向け、計画の基礎資料とするため、「みどりに関する市民アンケート」を実施しました。この調査結果を基に、東所沢公園周辺（松井地区）にお住いの市民が、公園やみどりに対し何を求めているのかについて整理しました。

■お住まいの地域の緑に対する感じ方

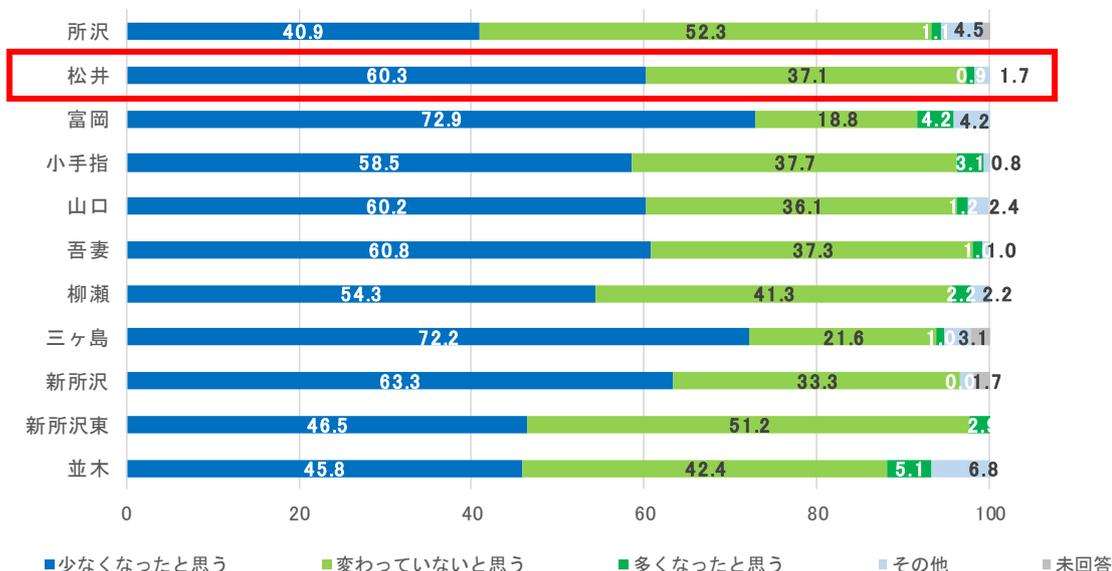
松井地区においては、「全体的に緑が多いと感じているので満足している」との回答が37.1%であるのに対し、「緑は多いと感じているが、満足はしていない」が38.8%、「全体的に緑が少ないと感じているので、満足していない」が21.6%との結果になりました。



■お住まいの地域について、お住まいになってから現在までの緑の変化

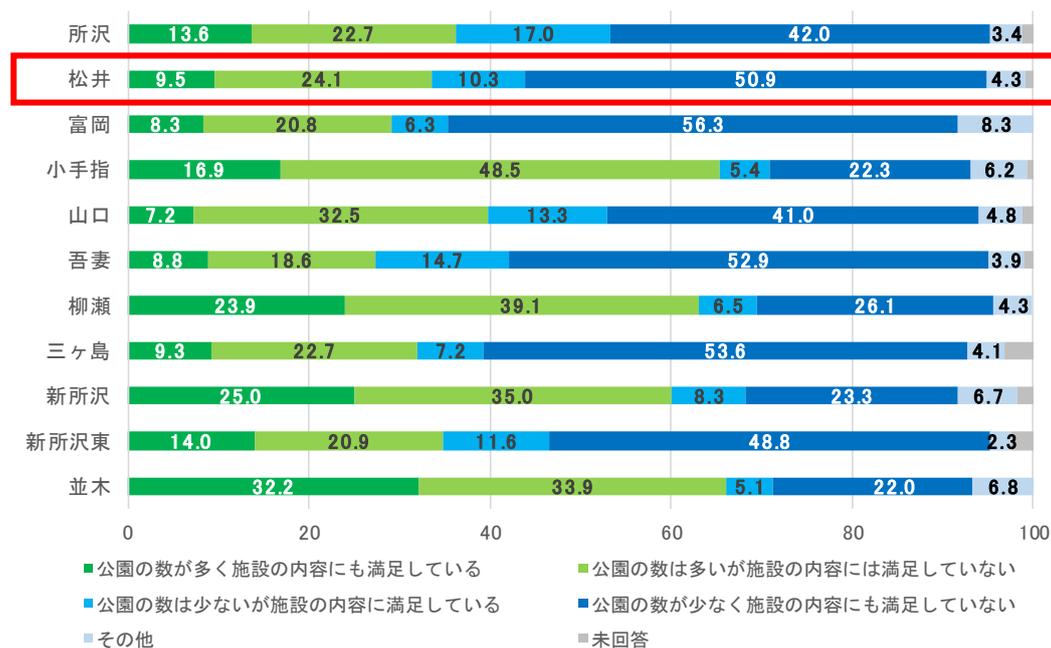
松井地区においては、「少なくなったと思う」との回答が60.3%であるのに対し、「変わっていないと思う」が37.1%、「多くなったと思う」が0.9%との結果になりました。

「多くなっている」と感じる市民の割合が小さい中、東所沢公園というまとまったみどりの存在は大きいといえます。



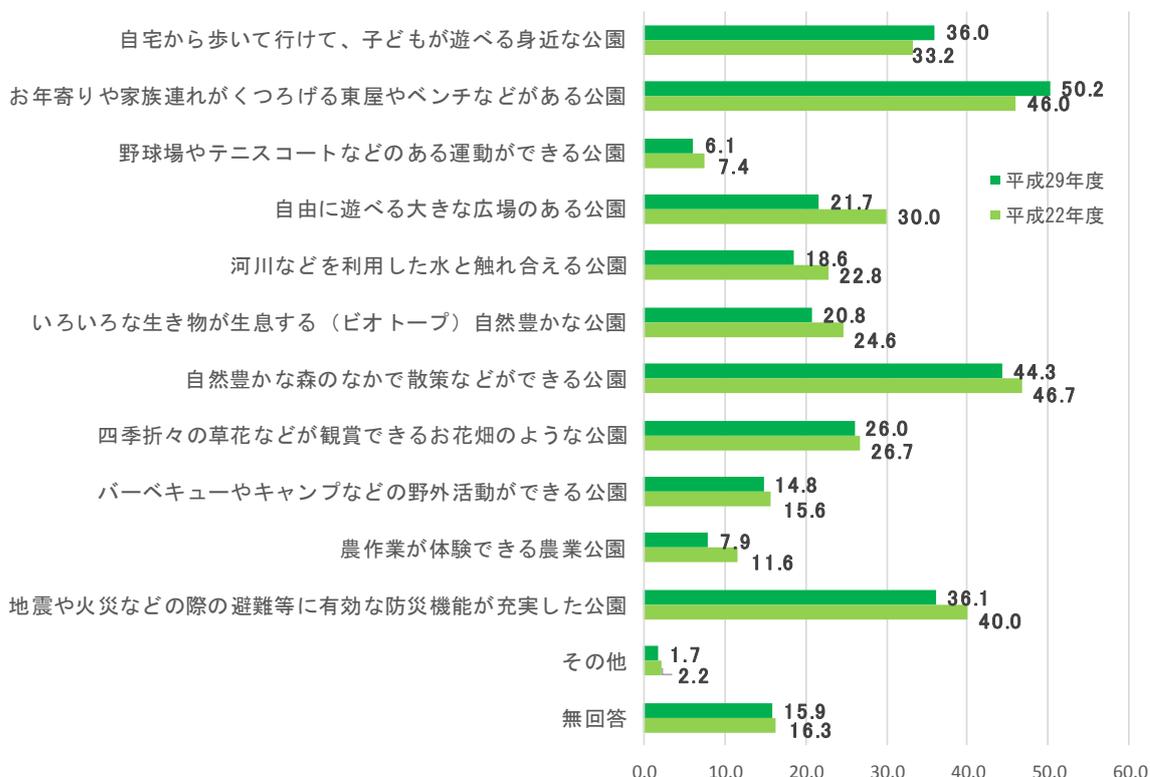
■お住まいの地域の公園の数や施設の内容

松井地区においては、「公園の数が多く施設の内容にも満足している」との回答が9.5%、「公園の数は少ないが施設の内容には満足している」との回答が10.3%であるのに対し、「公園の数は多いが施設の内容には満足していない」との回答が24.1%、「公園の数が少なく施設の内容にも満足していない」との回答が50.9%となっており、施設内容に不満のある市民が多い状況となっています。



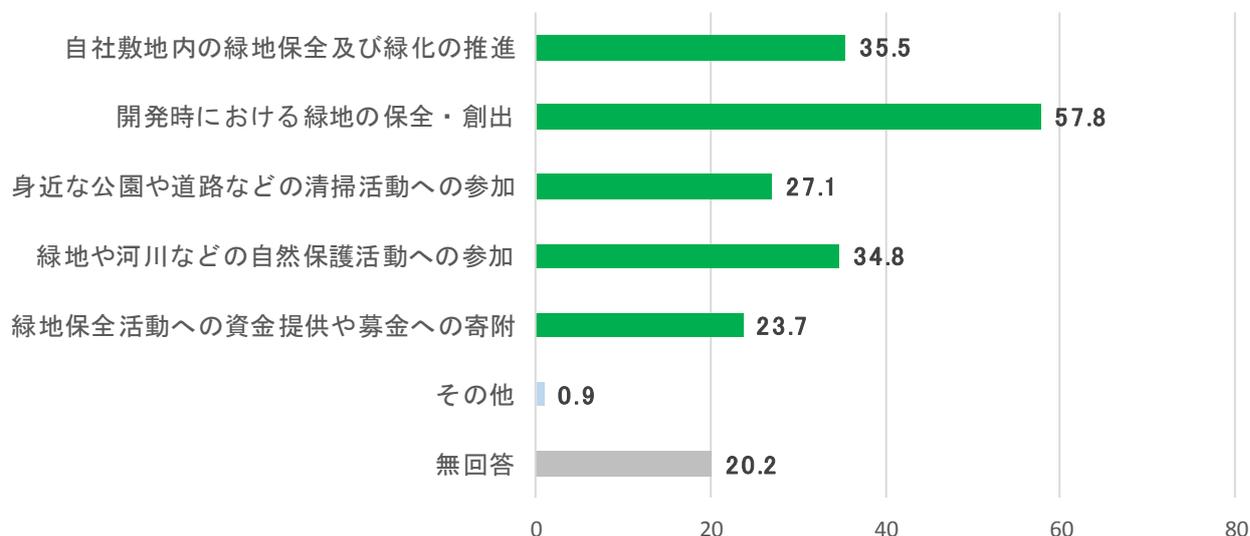
■増えて欲しい公園の種類（市全体）

前回調査（平成22年度）との比較によれば、「お年寄りや家族連れがくつろげる東屋やベンチなどがある公園」「自然豊かな森の中で散策などができる公園」との回答が、前回調査と同じく40%以上を占める結果となっています。



■緑全体に関する事業者が果たすべき役割について

緑の保全や緑化に関して事業者が果たすべき役割で、特に重要と思うものについては、「開発時における緑地の保全・創出」が57.8%と最も多く、次いで「自社敷地内の緑地保全及び緑化の推進」が35.5%、「緑地や河川などの自然保護活動への参加」が34.8%という結果になりました。



3. 東所沢公園 利用者需要の推計

COOL JAPAN FOREST 構想において、ところざわサクラタウンの集客需要が推計されています。これに基づき、東所沢公園の利用者需要を推計します。

ところざわサクラタウンでは、周辺地域はもとより、広域からの観光客が来訪することが想定されています。シミュレーションによれば、施設全体として年間 76.9 万人～147.6 万人の集客を見込んでいます。

交通手段別の年間来館者の見込みは、徒歩:26.7 万人～51.3 万人、自転車:約 10.0 万人～19.2 万人、自動車:約 17.9 万人～34.3 万人、バス:約 1.5 万人～2.9 万人、電車:約 20.8 万人～40.0 万人 と見込まれています。

【交通手段別の来客数予測（最大集客時）】

来館頻度	来館頻度の説明	距離帯別の交通手段別利用割合 ¹⁾ と来館者数見込み					合計
		徒歩	自転車	自動車	バス	電車	
週3回	施設近隣(1キロ圏内)に住み、会社や学校帰り、時間が空いた時、散歩やお茶、食事、本を読みに来る	45.8万人 (70%)	13.1万人 (20%)	6.6万人 (10%)	-	-	➔ 65.5万人
週1回	施設から3キロ圏内に住み、少し遠いが、土日に自転車や車で来て、食事やアート、本、ショッピングを楽しむ	5.5万人 (25%)	5.5万人 (25%)	8.7万人 (40%)	1.1万人 (5%)	1.1万人 (5%)	➔ 21.8万人
月2回	施設から10キロ圏内に住み、主に車で本を借りられる2週間ぐらいの単位で定期的に食事やアート、本、ショッピングを楽しむ	-	0.5万人 (5%)	6.1万人 (60%)	0.5万人 (5%)	3.0万人 (30%)	➔ 10.1万人
月1回	施設から15キロ圏内に住み、月に一回程度の企画展やイベント、ショッピングなどを目的に家族で電車または車で来て楽しむ	-	0.1万人 (2%)	2.8万人 (55%)	0.2万人 (3%)	2.0万人 (40%)	➔ 5.0万人
半年に1回程度	施設から30キロ圏内ではあるが、ミュージアムや企画展、イベントなどを目的に家族で電車、車で来て楽しむ	-	-	6.9万人 (30%)	-	16.1万人 (70%)	➔ 23.0万人
年に1回以下	施設から30キロ以上離れている人(訪日外国人観光客を含む)で、企画展やサブカルチャー関連イベント等の観光目的で来て楽しむ	-	-	3.3万人 (15%)	1.1万人 (5%)	17.7万人 (80%)	➔ 22.1万人
		51.3万人	19.2万人	34.3万人	2.9万人	40.0万人	

【交通手段別の来客数予測（最小集客時）】

来館頻度	来館頻度の説明	距離帯別の交通手段別利用割合 ¹⁾ と来館者数見込み					合計
		徒歩	自転車	自動車	バス	電車	
週3回	施設近隣(1キロ圏内)に住み、会社や学校帰り、時間が空いた時、散歩やお茶、食事、本を読みに来る	23.9万人 (70%)	6.8万人 (20%)	3.4万人 (10%)	-	-	➔ 34.1万人
週1回	施設から3キロ圏内に住み、少し遠いが、土日に自転車や車で来て、食事やアート、本、ショッピングを楽しむ	2.8万人 (25%)	2.8万人 (25%)	4.5万人 (40%)	0.6万人 (5%)	0.6万人 (5%)	➔ 11.4万人
月2回	施設から10キロ圏内に住み、主に車で本を借りられる2週間ぐらいの単位で定期的に食事やアート、本、ショッピングを楽しむ	-	0.3万人 (5%)	3.1万人 (60%)	0.3万人 (5%)	1.6万人 (30%)	➔ 5.2万人
月1回	施設から15キロ圏内に住み、月に一回程度の企画展やイベント、ショッピングなどを目的に家族で電車または車で来て楽しむ	-	0.1万人 (2%)	1.4万人 (55%)	0.1万人 (3%)	1.1万人 (40%)	➔ 2.6万人
半年に1回程度	施設から30キロ圏内ではあるが、ミュージアムや企画展、イベントなどを目的に家族で電車、車で来て楽しむ	-	-	3.6万人 (30%)	-	8.4万人 (70%)	➔ 12.0万人
年に1回以下	施設から30キロ以上離れている人(訪日外国人観光客を含む)で、企画展やサブカルチャー関連イベント等の観光目的で来て楽しむ	-	-	1.7万人 (15%)	0.6万人 (5%)	9.2万人 (80%)	➔ 11.5万人
		26.7万人	10.0万人	17.9万人	1.5万人	20.8万人	

引用：COOL JAPAN FOREST 構想

来客数を来館頻度別で見ると、週3回:34.1 万人～65.5 万人、週1回:11.4 万人～21.8 万人、月2回:5.2 万人～10.1 万人、月1回:2.6 万人～5.0 万人、半年に1回程度:12.0 万人～23.0 万人、年に1回以下:11.5 万人～22.1 万人となります。

来館頻度別の東所沢公園の利用回数は、以下のように仮定します。

- ・週3回利用者:週に3回のうち1回は、東所沢公園を利用(全来客数のうち、実際に公園を利用する人は3分の1)
- ・週1回利用者:2週間に1回ペースで、東所沢公園を利用(全来客数のうち、実際に公園を利用する人は2分の1)
- ・月2回、月1回、半年に1回程度、年に1回以下利用者:必ず東所沢公園を利用(全来客者が公園を利用する)

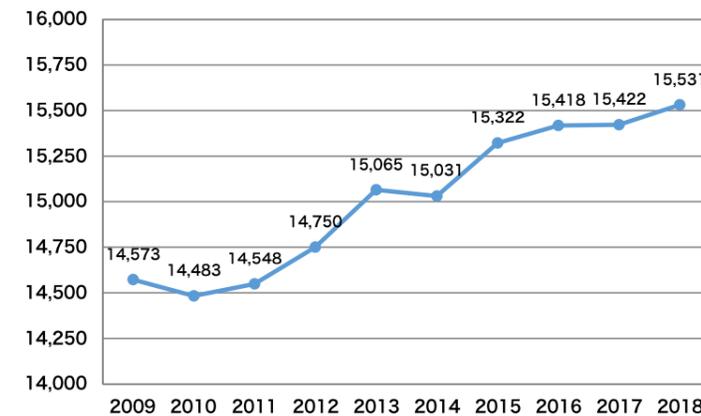
この仮定を基に、東所沢公園の年間利用者数を推計すると、

■最大:65.5/3+21.8/2+10.1+5.0+23.0+22.1 ≙ 92.9 万人/年 (1日あたり 約 2,500 人)

■最小:34.1/3+11.4/2+5.2+2.6+12.0+11.5 ≙ 48.4 万人/年 (1日あたり 約 1,300 人) となります。

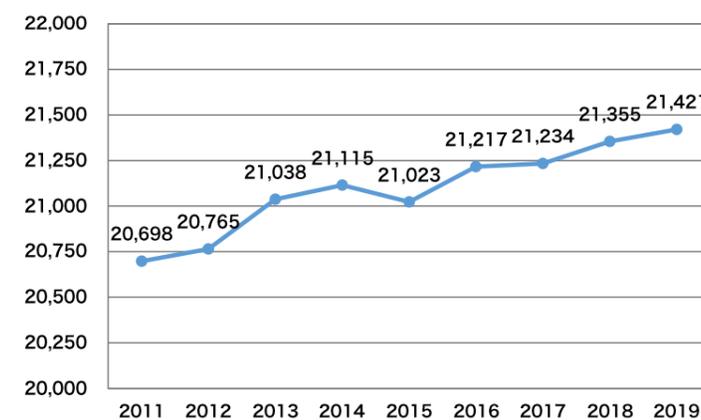
【参考データ】

・JR武蔵野線東所沢駅 平均乗車人員の経年変化 ※データ出典：JR東日本HP



2009年 14,573人
↓
2018年 15,531人
(約7%増)

・東所沢公園周辺 居住人口の経年変化 ※データ出典：所沢市HP



2011年 20,698人
↓
2019年 21,421人
(約3%増)

※居住人口は、東所沢公園周辺の以下の町丁の人口を合計して算出した。
・所沢市 東所沢 1丁目～5丁目
・所沢市 東所沢和田 1丁目～3丁目